

令和7年 第12回 定例教育委員会 会議録

日 時	令和7年12月19日(金) 15時00分～16時40分
場 所	阪南市防災コミュニティセンター 1階研修室
出席者	<p>〈教育委員会〉</p> <p>教 育 長 中 野 泰 宏 教育長職務代理者 八 田 三 紀 委 員 辻 雅 之 委 員 水 島 浩 子 委 員 柴 崎 一 也</p> <p>〈事務局職員〉</p> <p>生涯学習部長 松 下 芳 伸 生涯学習部理事 中 山 孝 一 教育総務課長 堀 野 純 司 学校給食センター所長 寺 井 浩 之 学校教育課長 石 原 慎 こども政策課長 楠 本 剛 史 生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理 秋 山 秀 子 学校教育課主幹 林 江 美</p>
事務局	教育総務課長代理 永 井 隆 祐
書記	教育総務課長代理 永 井 隆 祐
傍聴者	なし

会議の要旨

(教育長)

令和7年第12回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に柴崎委員を指名する。

◆承認事項第1号「令和7年第11回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号「令和7年第11回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、案のとおり承認されたものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和7年11月1日から11月30日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した9件について、報告する。

1件目は、NPO法人子どもNPOはらっぱ主催「こども体験教室2026」である。令和8年2月20日から23日にかけて、志賀高原一の瀬スキー場において、小学生以上を対象に、スキーやスノーボードなどのウインタースポーツや雪遊び体験、交流ゲームを体験する。

2件目は、音楽玉手箱マトリョーシカ主催「0才から親子で楽しめる わくわくクリスマスコンサート」である。令和7年12月7日、阪南市立西鳥取公民館において、マタニティのプレママや、0才から小学校の子どもを持つ親子を対象に、小さい子どもと一緒に本格的な生演奏を楽しめるコンサートが開催された。

3件目は、特定非営利活動法人おかん家主催「感じて語って繋がる上映会『風たちの学校』」である。令和8年1月17日、南海浪切ホール小ホールにおいて、生きづらさを抱える小中高生とその保護者・関係者を対象に、居場所交流会や映画上映会、監督トークショーが開催される。

4件目は、特定非営利活動法人 a i r 主催「通信制高校・サポート校合同相談会」である。令和8年1月17日、岸和田市の桜台市民センターにおいて、不登校の中学生・高校生を持つ保護者を対象に、各通信制高校のブースでの進路選択の不安を解消する個別相談会が開催される。

5件目は、一般社団法人ママと子どもの子育てラボ主催「キッズマネースクール おみせやさんごっこ はたらくってな～に？」である。令和8年1月25日、あいびあ泉南において、阪南市・泉南市在住の4歳～10歳のお子様と保護者を対象に、おみせやさんごっこを通じ、親子で楽しくお金について学べる企画が開催される。

6件目は、泉佐野市主催「eスポーツ ゲームクリエイター アカデミー2025冬」である。令和7年12月13日、14日に、泉佐野オチアリーナにおいて、小・中学生と保護者を対象に、現役で活躍するプロeスポーツ選手やクリエイターに直接触れられる職業体験型イベントが開催された。

7件目は、NPO法人子どもNPOはらっば主催「こども防災クッキング」である。令和8年1月18日、阪南市立西鳥取公民館において、小学3年生から中学生を対象に、防災クッキングと防災ポーチ作りのイベントが開催される。

8件目は、NPO法人じぶん未来クラブ主催「HEART Global ミュージック・アウトリーチツアー2026夏 in 泉佐野」である。令和8年5月8日から10日にかけて、泉佐野市立文化会館 エブノ泉の森ホールにおいて、小学1年生から高校3年生までを対象に、アメリカの音楽教育の非営利団体「HEART Global」を招いて、表現芸術教育や「HEART Global」のキャストのホームステイによる異文化交流が行われる。

9件目は、大阪府立青少年海洋センター主催「春のマリンフェスティバル」である。令和8年3月1日、同センターにおいて、一般の方を対象に、カヌー・クルーザー・小型ヨット等の体験ができるイベントが開催される。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

6件目の「eスポーツ ゲームクリエイター アカデミー2025冬」について、阪南市の子どもたちは、どれくらい参加しているか。

(教育総務課長)

現時点では、実績報告書が提出されていないので、把握していない。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果概要について」

(学校教育課)

(教育長)

報告事項第2号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果概要について」学校教育課の報告を求める。

(学校教育課主幹)

今年度より全国学力・学習状況調査の結果については、より多くの方に要点をわかりやすく見ていただけるよう、府の形式にならない、様式を変更している。調査対象は、小学6年生、中学3年生である。今年度の教科に関する調査は、小学校が「国語・算数・理科」、中学校が「国語・数学・理科」であった。中学校における理科、小中学校ともに学習状況等を問う質問調査は、タブレットを用いて回答するオンライン調査となった。教科に関する調査結果など、詳細は資料のとおりである。結果概要については、市のウェブサイトにも掲載している。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

全国学力・学習状況調査結果については、小中学校ともに厳しい結果であると感じる。大阪府平均が全国平均に近づきつつある中で、阪南市が上がってきていない。この結果を受けて、各学校へどのように指導されているのか。

(学校教育課主幹)

校長会、教頭会をはじめ、教育フォーラムや研修の機会において、各校の活動や授業改善につなげるよう助言している。具体的な例の一つとして、市の教科横断的な課題である、文章等の正確な読み取りや記述式で解答するために必要と考えられる語彙力を身につけるため、今年度は、市で招聘した学識の先生の講演会には、各校学力担当者を悉皆参加とし、その講演内容を、校内の学力向上につながる校内研修として実施することを必須とした。また、そういった校内研修について、教職員アンケートを実施し、校内での研修の研鑽に努めるよう指導した。校内研修の好事例については、市の学力向上担当者研修にて、担当者に他校の担当者に向けて報告してもらい、その後、各校の分析結果と併せて学力向上につながる校内研修のブラッシュアップのための協議を設けるなどしている。

(柴崎委員)

タブレットを活用した授業を展開しており、指導方法も変わってきていると思うが、どのような状況か。

(学校教育課主幹)

タブレットの使い方については、各校で工夫している。桃の木台小学校では、昨年度まで2年間、大阪府のスマートスクール実現モデル校として、実践してきた。子どもたちが課題解決したいテーマによって、媒体を取捨選択するようになってきている。テーマによって、情報をすぐに友達と共有できるタブレットの方

がふさわしい、紙の方がふさわしいと選ぶようになってきている。例えば、様々な意見や考えを共有し、ブラッシュアップしていくような場面では、タブレットのシンキングツールを使うことが最適であると、子どもたちは学んできている。一方で、単元の内容によっては、子どもたち自身が紙でまとめあげたいという希望を伝えてくることもある。子どもたちが自立した学習者として学んでいける好事例が出てきている。昨年度からは、朝日小学校が言語能力をはぐくむモデル校として、タブレットと紙面の使い分けを、語彙を増やしていく観点を持ちながら実践している。タブレットと紙面の使い分けについて、何が最適か、各校で精査している段階である。

(教育長職務代理者)

全国学力・学習状況調査結果のよると国語力・語彙力に課題がある。これまでも読書量を増やす取組は実施してきたと思うが、なぜ課題解決につながらないのか。

(生涯学習部理事)

現在、阪南市内の特に小学校においては、図書室の貸し出し冊数をはじめ、学級文庫や授業に関連する読書量等は、目に見えて増加していると言える。ただし、それが国語力・語彙力、特に表現力や読解力に直結するかどうかと言われれば、必ずしも顕著に表れるものではない。やはり、幼少期より、家庭における読書量や読み聞かせ等の積み重ねがあるかどうかの大きいのと思われる。今後は、小中高を通して、読書習慣を積み重ねることで、結果が得られるものと期待したい。

(辻委員)

「読むこと」についても、音読と、黙読がある。日本語の良さや美しさを伝えるためには、音読がいいのではないかと感じている。例えば、川柳であれば、韻を踏んだり、洒落っ気があったりと、音に発して聞くことでより良さがわかる。声に出して、耳で聞くことが大切ではないかと思う。

(学校教育課主幹)

昨年度まで東鳥取小学校に来てくださっていた大学教授からも、音読と黙読について、示してもらっていたことがあった。「音読ができなければ、黙読もできない」ということは、国語ではよく言われおり、音読の大切さを意識して各校で指導しているところである。また、タブレットには録音機能があることから、家で音読したものを吹き込んで、宿題として提出させる学校もある。保護者が音読を聞く時間が少ない児童でも、自分で自分の声を聞き取る、後で先生にも聞いてもらえるという面で、子どもたちの意欲を高め、音読の上達につながる事例となっている。

(水島委員)

教科に関する調査結果を見ると、年度によって、上がったたり下がったり、折れ線グラフがギザギザしているが、何か要因があるのか。

(学校教育課主幹)

一概に説明することはできない。その年度の小学6年生、中学3年生が対象者

であるため、同じ児童・生徒の結果でないため、その年度によって結果は変わってくる。市全体の課題を踏まえながら各校に向け指導し、各教員の指導が同じベクトルで進んでいくよう、取り組んでいきたい。

(水島委員)

ギザギザしながらでも、少しずつ全国平均、大阪府平均に近づいていてもらいたい。また、児童生徒質問調査結果を見ると、家庭の状況が大きなウェイトを占めていると思う。この結果を親に伝えているのか。

(学校教育課主幹)

学校ごとに生活アンケートを実施しており、その結果を懇談会などで保護者に共有している。経年での結果もホームページに掲載しており、保護者の方にも見てもらいたいと思っているところである。また、各学校の学校だよりで取りあげている学校もある。

(学校教育課長)

児童生徒質問調査結果は、市全体の結果である。学校間で結果内容は変わってくる。各学校は、市の結果とその学校の結果を分析した上で、保護者に示しているところである。

(教育長)

学校ごとの分析は、学校だよりで示しているの、見てもらいたい。

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第3号「令和7年度第2回阪南市社会教育委員会議の会議録について」 (生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第3号「令和7年度第2回阪南市社会教育委員会議の会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年11月14日に開催した、令和7年度第2回阪南市社会教育委員会議の会議録について報告する。案件は、(1)議長、副議長の選出について、(2)財政非常事態宣言解除後の阪南市行財政構造改革プラン・改訂版の今後の取組について、(3)令和8年4月以降の市立公民館の管理運営等について、(4)その他、であった。

詳細は資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

東鳥取公民館を含め、旧東鳥取小学校周辺の跡地活用について、検討状況はど

うなっているか。

(生涯学習部長)

旧東鳥取小学校周辺の跡地活用については、未来創生部が中心となり検討している。

(水島委員)

海側の旧村など、狭い路地が多く風情があつていいと感じる反面、空き家や空地が増えているところもある。民間が所有している土地は、なかなか手を出しにくい、公的な土地は少しでも話が進まないかという思いから、今回、話をさせていただいた。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」(各担当課)

(教育長)

その他案件②「教育委員会関連行事等の報告について」について、各課の報告を求める。

まず、初めに、11月29日に実施された「人権啓発ポスター展」について、学校教育課の報告を求める。

(学校教育課長)

令和7年11月29日から12月5日にかけて、阪南市立文化センターの2階展示室にて、人権啓発ポスター展を開催した。本年度は、小中学校から54作品が出品された。家庭や学校での日常生活の中で得た体験や、学習等で身につけた知識を活かし、児童生徒それぞれが絵にメッセージを込めて作製した作品からは、

多様性や個性が尊重された社会を願う気持ちが伝わってきた。今後とも、より広く市民の人権意識の高揚を図る一環として、人権啓発ポスター展示を行っていききたい。

(柴崎委員)

ポスター展を鑑賞させていただいたが、今回、中学生部門の作品が少なく感じた。何か理由はあるのか。

(学校教育課長)

中学生部門は、クラブに所属している生徒を中心に作品を出品する学校もあることから、作品が少なかった。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、11月30日に開催された「第34回阪南市健康マラソン大会」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年11月30日、第34回阪南市健康マラソン大会が開催された。当日は、午前9時30分開始の「親子キッズの部」をはじめ、小学生の部及び一般の部の参加者が500mから10kmまでの各種目に分かれて、せんなん里海公園内の周回道路を走行した。天候にも恵まれ、昨年度を大きく上回る145名のランナーが参加された。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

医療スタッフとして参加させていただいた。今年度は、各学校において児童・生徒たちに直接周知したことで、例年に比べて参加者が多く、賑やかな大会となっていてよかったと感じている。また、閉会式で抽選会があったことも盛りあがった要因ではないかと思う。気分が悪くなった子どもも3人程度いたが、特に大事に至らずに済んだ。医師と看護師を配置し、安全対策をしていることで、安心して参加いただける大会になっている。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、同じく11月30日に開催された「まい幼稚園音楽参観」について、こども政策課の報告を求める。

(こども政策課長)

令和7年11月30日、まい幼稚園音楽参観が開催され、20名の園児が参加した。今年度は、初めての取組として、1部は園児の発表、2部は音楽講師によるミニコンサートを行った。子どもたちが自由に歌ったり踊ったりする姿を保護者に見てもらいながら、一緒にコンサートを楽しみ、「音楽」を満喫できる時間となった。

また、併せて、令和7年11月28日に開催された「はあとり幼稚園音楽参観」についても、報告させていただく。当日は、52名の園児の参加があり、多くの保護者や祖父母の方に参観していただくため、クラスごとの参観として実施した。また、担任が発表曲ごとに、取組過程の様子などを伝える時間を取り、保護者に子どもの育ちを十分に感じてもらえるよう心がけた。

両園とも、特に5歳児は、自分の力を発揮した。また、みんなで協力してやり遂げた等の達成感を感じたのか、生き生きとした表情のように感じた聞き及んでいる。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、同じく11月30日に実施された「阪南市版社会教育士講座」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

東鳥取公民館では、地域の人材の育成と発掘をおこない、地域の活性化をめざして、阪南市版社会教育士講座を開催している。令和7年11月30日は、大阪樟蔭女子大学の萩原雅也名誉教授を招き、「地域づくりへのヒント」をテーマとした。地域づくりに際して、1人でできること、10人でできること、100人でできることを考察し、発表した。参加者が、それぞれの考えを発表しながらも、お互いの意見を尊重することで、様々な立場から生まれたアイデアが良い形となり、地域づくりを達成していくことのヒントを学んだ。講座の終了後においても参加者同士で地域活性化の話が続き、地域づくりへの関心の高さが伺える講座となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月2日、3日に行われた「12月定例会一般質問」について、生涯学習部長の報告を求める。

(生涯学習部長)

教育委員会に関連する質問としては、杉本議員から「給食費の無償化について」

を、山本光男議員から「放課後学習、部活の指導者などについて」を、二神議員から「人生100年時代を迎え、誰もが学んだ成果を地域で活かして輝けるまち」として学校給食センター関連の内容を、見本議員から「桃の木台小学校のトイレ改修について」を質問いただき、各々の状況を答弁させていただいた。詳細は、市のウェブページから議会中継をご覧いただける。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

中学校給食がとても美味しくなり、喜ばれている。一方で、複数の保護者の方から量が足りないという話も聞く。女子でも空腹が満たされないそうで、おかわりをしたい生徒は、じゃんけんで決めているようである。給食の量は、どのように決められているか。ごはんだけでも増量する余地はないか。

(学校給食センター所長)

子どもたちから「美味しい」と言っていただけは、非常に嬉しいことである。子どもたちの給食量については、学校給食摂取基準で定められている1食当たりの栄養価を目途に献立を作成している。ごはんの量は、市町村によって異なるが、本市では中学生であれば一人当たり精米量で100g、ご飯に炊くとおよそ220gから230gとなり、特段他市町村と比べて少ないといった状況ではない。また、副食の量は、汁物や煮物などメニューによって多少バラつきがあり、日によって多く感じたり、少なく感じたりすることもあると思う。一方で、その日のメニューによってバラつきもあるが、学校給食センターでの測定結果によると、直近の12月の最初の2週間において、中学校だけで、主食で一日当たり平均30.9kgの残食量となっているという現状もある。学校や学級、あるいは子どもたちの雰囲気にも影響されることもあるが、美味しく食べていただき、残食量を減らせるよう、今後も取組を進めていきたい。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月6日に開催された「シニア・ライフプランニング講座」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年12月6日、「人生100年時代 今から始める資産運用」をテーマとして、ソニー生命のファイナンシャルプランナーを講師としてお招きし、シニア・ライフプランニング講座を開催した。人生100年時代、超インフレ時代の老後をどう生き抜くか、自分の身を守るために負けない資産運用を学んだ。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月7日に実施された「絵本作家さいとうしのぶさん おはなし会&ワークショップ」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年12月7日、「絵本作家さいとうしのぶさん おはなし会&ワークショップ」を開催した。布の絵本や大型紙芝居、28メートルもの巻物絵本を使ってのお話し会の後、自分の名前で絵本を作るワークショップを行った。さいとう先生の読み聞かせと一緒に歌ったり、28メートルの巻物を参加者が手渡ししながら会場内を1周するという珍しい体験に驚きの歓声が上がっていた。また、ワークショップでは、講師が声掛けしながら回ることで、個別に話をする機会を持つことができ、参加者はとても楽しんでた。アンケート結果でも、多数が大変満足したという意見で、楽しみながら本の魅力を知ってもらう機会となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月10日に実施された「12月定例会厚生文教常任委員会」について、中央公民館の報告を求める

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

12月議会において上程した尾崎公民館の指定管理者の指定に係る議案と中央公民館の設置場所の変更に伴う阪南市立公民館条例の改正に係る議案の付託に関して、1議員から有資格者の配置に関する質問があった。生涯学習推進室長から、適切に職員を配置していく旨の答弁を行い、可決すべき議案として決定された。

(教育長)

次に、12月11日に実施された「12月定例会予算常任委員会」について、予算計上した課の報告を求める。

(教育総務課長)

主なものとしては、車椅子に乗った生徒が階段を移動できるよう、移動式昇降機を購入するための予算を計上した。また、猛暑による影響で小中学校の光熱水費が増大したことから、増額補正を行った。

(学校給食センター所長)

消耗品費と光熱水費について、増額補正を行った。消耗品についてはボイラーの清缶剤の不足分によるもので、光熱水費については電気、ガス料金が当初見込が少なかったことが要因である。

(学校教育課長)

令和7年度から8年度の外国語指導助手配置事業と、令和7年度から令和10年度の水泳の充実推進事業について、債務負担行為補正を行った。

また、歳入の補正として、府の補助金である市町村医療的ケア体制整備推進事業補助金を増額補正している。内容としては、次年度進学、進級する支援を必要とする児童・生徒のための施設改修や備品購入、また、今年度修学旅行に参加する際にリフト付きのバスを借り上げた際の費用について、補助金申請を行ったことによるものである。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

阪南市立文化センター 能舞台の老朽化に伴う大屋根修繕を行うため、令和7年6月6日よりガバメントクラウドファンディングを実施したところ、寄附金額100万4千円が集まった。そのため、当初の計画では実施が不可能であった修繕も実施することができることとなったため、当初予算額から61万2千円を増額するとともに、業務委託に係る債務負担行為等を提出した。

(こども政策課長)

主なものとしては、保育所給食用牛乳供給委託と石田保育所給排水管改修工事について、債務負担行為の追加を行った。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月14日に実施された「クリスマスツリーを作ろう！」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年12月14日、クリスマス飾りを一緒に作ることで、子どもたちにとって図書館が楽しい場所だと感じてもらい、児童の利用率アップにつなげることを目的に、図書館にてクリスマスツリー作りを行った。工作の前に本の読み聞かせを行い、子どもたちは落ち着いて話を聞いてくれていた。工作では、参加者それぞれが毛糸を巻きつけ、楽しそうに飾りを選びながら、オリジナルのクリスマスツリー作りを行った。いろいろな色の毛糸を使い、飾り付け方もそれぞれの趣向が凝らされ、素敵なクリスマスツリーが出来上がった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、12月18日に実施された「まほうのおばさんおはなしかご」について、中央公民館の報告を求める。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

令和7年12月18日、西鳥取公民館で「まほうのおばさんおはなしかご」を開催した。乳幼児期の親子を対象に、わらべうた、手遊び、読み聞かせ等を通して、空想力などを育む機会づくりと親子のコミュニケーションを目的として、毎月第3木曜日に実施している。阪南市おはなし会の皆さんが、人形や布のおもちゃを使って手遊びやわらべうたで、子どもが興味を持つように遊んだり、子どもが喜ぶ絵本を選んで、本格的な読み聞かせを行っている。子育て中の悩みも聞いてくれたり、クリスマスシーズンにはママへのプレゼントとしてオーナメントづくりをしたり、親子連れの参加者に、大変喜ばれる講座となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

木曜日の開催であるが、開催の時間帯は、どうか。

(生涯学習推進室長代理兼中央公民館長代理)

この事業は、西鳥取公民館の指定管理者の自主事業である。乳児期の親子連れが出席しやすい平日の日中に開催している。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他（教育長）

(教育長)

続いて、委員から何かないか。

(柴崎委員)

泉鳥取高校の跡地の活用について、進展はあったか。

(生涯学習部理事)

泉鳥取高校の跡地及び建物については、大阪府が所有している。大阪府教育庁と阪南市とで、阪南市及び市民にとって、最も有効な活用方法について重要な検討課題であるという共通認識を持っている。今後とも、市長部局を中心に慎重かつ前向きな検討を重ね、大阪府教育庁との協議を進めていく。

(生涯学習部長)

泉鳥取高校の体育館については、本市の危機管理課と泉鳥取高校で防災協定を締結しており、今後も避難場所と活用する方向である。また、市としても、泉鳥取高校跡地が地域の活性化に寄与する施設になるよう、毎年、府に対して継続して要望している。府立高校の再編整備が進み、統廃合する学校が増えて行く中で、府もトータルで活用を考えていくことになるので、なかなか難しい課題だと思っている。府としては、跡地活用をしないのであれば、処分というスタンスである。

(教育長)

今年度、府は、泉鳥取高校の隣接地との境界確定などを行っている。府議会では、令和7年11月定例会において、渡辺秀綱府議が泉鳥取高校跡地の早期活用に関して一般質問しており、大阪府教育委員会教育長からは、「阪南市から具体的な活用の要望が確認でき次第、サウンディング調査などを実施する」と答弁があったところである。また、りんくう翔南高校についても、3年連続定員割れとなっていることから、府の方針に基づくと、募集停止の対象となる。泉鳥取高校の閉校に伴い、その機能をりんくう翔南高校に統合しているという経過もあり、また、泉州地域の子どもたちの学習環境の確保等を踏まえ、りんくう翔南高校の存続については、泉南市、阪南市、田尻町、岬町の首長、教育長連名で府に要望を行うこととしている。

他に何かないか。

(教育長職務代理人)

シオノギヘルスケア株式会社が市販薬の適正使用を啓発するために「ツナグカード」を作成し、無償配布している。QRコードを読み込めば、相談窓口の一覧が出てきて、夜中でもチャットで相談できるようなところであったり、保護者向けの相談窓口にもつながる。大阪市内の学校のトイレに設置しているケースでは、知らないうちに子どもたちがカードを持っていっているようである。学校の保健室やトイレ、また若いお母さんがよく来るような施設に置いてみてはどうか。

(教育長)

他に何かないか。

(教育長職務代理人)

学校薬剤師は、学校環境衛生の維持管理に関して、指導・助言することが一番の業務である。来年度は、学校配膳室に入らせてもらって、指導・助言できるよう、学校給食センターと調整しているところである。

(教育長)

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和8年第1回定例教育委員会は、令和8年1月23日金曜日午前9時から阪南市役所3階全員協議会室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和7年第12回定例教育委員会を閉会する。